

# 令和元年度 明石市地域自立支援協議会 くらし部会 レポート Vol. 38 令和2年3月31日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター1 階）

電話番号：078-924-9155 ファクシミリ：078-924-9134

【意見投稿用アドレス】 [akashi\\_jiritsushien@yahoo.co.jp](mailto:akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp)

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

みなさまこんにちは！くらし部会のワーキンググループ 生活介護事業者連絡会 です。

このワーキンググループでは、神戸学院大学総合リハビリテーション学部の塚原先生、森川先生による生活介護事業所への作業療法士による介入（コンサルテーション）を試行的に実施、令和元年度は7月～12月にサポートセンター翔にて行いました。サポートセンター翔の各班（生活班、創作班、作業班）への介入により明らかとなった課題と取り組みについて、同事業所 副主任の福本伸雄さんに報告頂きます。

## 生活班

【課題】①整理整頓の不十分さが見受けられる（特に倉庫）。

②重度の方が生活する場で忙しさが先行し、職員の活気の無さが見受けられる（業務に追われている印象）。

### 【対応】

①倉庫の整理を行い、利用者様、職員双方にとって導線が取りやすい様に環境を整えた。

②会議等において役職者より課題を伝え、各会議を出来る限り小規模にすることで、職員の意見を抽出しやすくした。

【まとめ】重度の方の生活支援が中心となる活動班であるために、少し余裕を持てていなかったことを教えて頂いた。全ての面において「余裕を持つ」ことの大切さを今後継続して職員に伝えていきたいと思う。

## 創作班

【課題】落ち着いて過ごせる利用者様が集まっているが、もう少し「療育面」を整えても良いのではないかと意見を受ける。

【対応】生活班同様、スヌーズレン器具（手先の感覚遊びに用いる器具）を中心に整え、療育面の充実を図った。

【まとめ】「落ち着いた空間」という点に重きを置き過ぎていたため、療育面の充実の必要性を改めて教えて頂いた。今後も検討を重ね、更なる「療育面の充実」を図っていきたい。

## 作業班

【課題】十分な広さと作業提供環境が整っており、問題無いとのこと。

【対応】職員間で意見交換を活発に行い、「作業台」の変更を実施した。

【まとめ】現状の環境を維持しつつ、作業台を変更したことで、更に利用者様にとって快適な作業環境を整えることが出来たと感じている。

